



おぐに議会だより

第26号

平成29年2月10日

- 平成28年 第4回臨時会
- 平成28年 第4回定例会
- 町政を問う(一般質問)

発行 小国町議会

編集 広報特別委員会

〒869-2592

熊本県阿蘇郡小国町宮原1567-1 TEL.0967-46-2119

条例の改正

- 被災建物等解体等支援事業分担金徴収条例・・・殿町大火の建物撤去に伴う分担金の徴収

補正予算

- 平成28年度 小国町一般会計補正予算(第7号)1億372万円の増額補正
・・・殿町大規模火災解体撤去工事、開発センター解体工事ほか

工事請負契約締結

- 町道対岸線③災害復旧工事・・・請負額:6,134万円 落札業者:(株)ミトマ
- 町道北河内線②災害復旧工事・・・請負額:6,134万円 落札業者:(有)さとう工業

平成28年第4回定例会

平成28年12月6日～

条例の改正

- 税条例等の条例の一部改正・・・延滞金の計算期間等の見直し(修正申告等の場合)
固定資産税関係(再生可能エネルギー発電設備に係る課税標準の特例措置)
町民税関係(スイッチOTC薬控除の創設)
個人住民税関係(日本台湾間の二重課税の回避)
- 国民健康保険税条例の一部改正・・・特例適用利子、配当等に係る課税の特例
(平成30年度課税から適用)
- 農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例
・・・農地利用最適化推進委員制度の導入とその定数、報酬額を定めるもの

補正予算

- 平成28年度 小国町一般会計補正予算(第8号)1億8,815万円の増額補正
・・・地籍調査業務委託、測量委託等6,090万円、林業木材産業強化対策事業補助1,665万円、
土木施設災害復旧事業8,000万円、介護保険特別会計への繰入2,000万円など
- 平成28年度 小国町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)383万円の増額補正
・・・保険給付費358万円ほか
- 平成28年度 小国町介護保険特別会計補正予算(第2号)2,886万円の増額補正
・・・介護・介護予防サービス諸費3,027万円など
- 平成28年度 小国町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)48万円の増額補正
・・・歯科検診委託38万円ほか

議員発議

○地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書

…平成23年に廃止された地方議員の年金制度を復活

工事請負契約締結

○町道小原田寺尾野線道路改良工事…請負額:7,074万円 落札業者:(株)肥後建設社

○小国町山村開発センター解体工事…請負額:5,853万円 落札業者:(株)伊藤組

人事案件

○小国町固定資産評価審査委員会委員の選任…佐藤政久さん(宮原、再任)

採決結果一覧表

	議案番号	事件名	採決結果	穴井 帝史	大塚 英博	北里 勝義	高村 祝次	児玉 智博	時松 唯一	穴見 まち子	松崎 俊一	熊谷 博行	時松 昭弘	松本 明雄
第4回 臨時会	議案第45号	小国町被災建物等解体等支援事業分担金徴収条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第46号	平成28年度 小国町一般会計補正予算(第7号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第47号	公共工事請負契約の締結について(町道対岸線③災害復旧工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第48号	公共工事請負契約の締結について(町道北河内線②災害復旧工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第4回 定例会(条例・補正予算・人事案件など)	議案第49号	小国町税条例の一部改正	可決	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○
	議案第50号	小国町国民健康保険税条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第51号	小国町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例	可決	×	○	○	×	×	×	○	○	○	×	○
	議案第52号	平成28年度 小国町一般会計補正予算(第8号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第53号	平成28年度 小国町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第54号	平成28年度 小国町介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第55号	平成28年度 小国町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	発委第2号	地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書	可決	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×	○
	議案第56号	公共工事請負契約の締結について(町道小原田寺尾野線道路改良工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第57号	公共工事請負契約の締結について(小国町山村開発センター解体工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第4号	小国町固定資産評価審査委員会委員の選任	同意	全員賛成により同意											



機能別消防団と消防活動に対しての 南小国町との連携

松本 明雄

【問】10月に小国町で非常に重大なる火災が起きた。予防消防がいかに大切か、そして万が一火が出た時の初期消火の方法を改めて考える時期に来ている。機能別消防団は団員の減少と共に他の町村でも検討されている。

【答】実際に高森町・産山村・南小国町は実施している。

【問】数年前に一度質問したが、今まさに重要性が増しているのではないか。

【答】殿町の火災時に早めに駆けつけたら、元消防団の方はすでに消火栓からホースを繋ぎ消火活動を始められた。この迅速な行動を見て、私は機能別消防団導入の必要性を感じたところだ。

【問】また、隣町である南小国町との連携も必要だと考えるが。

【町長】機能別消防団については、他町村の例も参考にし、消防幹部会と協議して行く。また、南小国町との協定締結は非常に大事である。

【総務課長】機能別消防団とは基



待機中の消防車

本的に消防団を補完する事で、主に初期消火の役割を担う。現在、この組織を編成している町村では、元団員や一定期間の経験がある方を募集し活動している状況である。

【問】幹部会の中でも来年度の募集をどんな形で進めて行くかを検討して行く。

【答】今後の課題として、①防犯力②メラの重要性③乗合タクシーの2キロ以内の人たちの利用についてを質問した。



今年の反省、来年の課題

熊谷 博行

【問】平成28年も残り僅かになった。地震に始まり水害・殿町火災と災害続きだが、一年の反省点を聞きたい。

【町長】地震においては、即座に対応本部を設置し、副町長の経験を織り交ぜながら対策本部の中で補佐をしていただき町民の生命、財産、そして心の不安を最大限対応させて頂いた。

【問】来年も課題が山積みと思うが、町長の来年への抱負は。

【町長】当面は災害復旧、復興がある。そして開発センターの解体、建築といった運びになると思う。また、ソフト事業も引き続き地方創生の中で人口減に対応する事柄を施策として行う。

【問】開発センター建替えに伴い、地震に遭う前から町長の構想はないのか。

【町長】今回は、地震による災害ということと現在の利用頻度や財源等協議した結果、今回の案を提出した。

【問】殿町火災後の、町道開放が遅

れたのはなぜか。

【町長】色々な要因があるが、私ももう少し早く片付けるべきと、反省している。

【問】新電力会社を設立したが、その後の進展が判らない。何年先に町民へ配給するのか。

【政策課長】町内の五団体に参加していただいた。家庭への販売は、時間がかかる。パンフレットを作成し判り易く説明する準備をしている。

【問】男女共同参画社会基本法施行後15年、2020年までに女性管理職の割合を30%引き上げる事が目標だが、小国町の取組は。

【町長】法律は法律として、頭に入れ、政策に反映して行く。個々の能力、個性、活躍を考えて、適材適所の配置をして行く考え。



商工業へ起爆剤の考えは

穴井 帝史

【町長】プレミアム商品券による一過性の対策ではなく、各地域に
【情報課長】町内の温泉地・観光地・飲食店向けのスタンプラリーやターゲットを絞った旅行商品の開発等、観光地域ブランド確立支援事業を行いたい。

【教育長】現在、警備会社に委託しているが防犯カメラの設置まではしていない。今後は関係機関との協議を行



冬の鍋ヶ滝

い、意見を聞きながら考えて行きたい。
【副町長】今回の条例は農業委員と推進委員の定数を定める条例であり、仕事の内容を見合う必要があるのか、本場に推進委員が必要であるのかを問う。
【総務課長】国の政策の一つであり、集約化、耕作放棄地をなくすという方針に従って取り組んで行く。

【町長】耕作放棄地の調査（パトロール）、把握（情報整理等）は現在の農業委員の人数では業務過多であり、国もそれを見越して最適化推進委員の枠組み制度を設けたもので大変必要であると考えてる。

【教育長】学力充実の取り組み、開かれた学校づくりのさらなる推進、豊かな人間性の育成に向け



農地利用最適化推進委員定数可決と 教育長教育方針について

高村 祝次

たふるさと教育（小国学）の推進、国際化・情報化に対応する人材育成、小国町教育研究会の活性化の5点を柱にこれまでの小国町の教育の良さをしっかりと伸ばし、誠実丁寧にスピード感を持って取り組んで行く。

目指す子ども像は、国際化・情報化に対応する能力を育む豊かな人間性と確かな学力を身につけ、ふるさと小国を愛し誇りを持つ子どもであり、こうした子どもを育成するのだということを進めて行く。



耕作放棄地



殿町大火災の復旧復興

松崎 俊一

【町長】今回は全分団出動、南小国町消防団の協力もいただいた。今後は、被災者に寄り添った対応を行いたい。

【副町長】がれきの撤去について、分担金条例に基づき、費用の1割を被災者の方々から、残りの9割を町と県で負担したい。

【総務課長】消防団は5時過ぎに到着したが、火の回りが非常に早く、使えない消火栓もあった。長時間使用によるポンプの負荷、密集地での水利の確保や消火活動、家の中からの消火活動などの課題があり、今後の教訓にした

い。

【町長】餅つきは、地域の防火意識を高め、今日まで大火は発生していない。

【副町長】餅つきは、地域の防火意識を高め、今日まで大火は発生していない。

このような悲惨な状況を二度と起こさないためにも、日頃からの火元に対する意識の向上、防火意識を高める努力を求め



西里明里線の完成は

穴見 まち子

【建設課長】平成9年に着手してから20年近く経っている。またこの路線と同時に10路線近く改良工事を進めて来た。当初は国交省の道路促進事業や過疎債を使って道路改良工事を行っていたが、時代の流れで補助金が交付金と変わり現在は社会資本整備総合交付金で対応している。この予算の関係で要望額の半分程度の交付金額を受けて実施している状況だ。目標としては平成30年を完成予定としている。

【福祉課長】児童や乳児健診等は、新しいセンター1・1・2階部分で対応できると考える。調理室は計画にはないが、隣保

【福祉課長】児童や乳児健診等は、新しいセンター1・1・2階部分で対応できると考える。調理室は計画にはないが、隣保

【福祉課長】児童や乳児健診等は、新しいセンター1・1・2階部分で対応できると考える。調理室は計画にはないが、隣保



建設中の西里明里線



高齢者の為に公共交通の充実を

児玉 智博

問 高齢者の交通事故で、何より問題はマイカーが無ければ通院や買い物などの日常生活に大きな支障が出てしまうという事だ。そこで、重要なのが地域公共交通をどう作り上げるかだ。

乗合いタクシーは、前日夜8時までの予約が求められており、利用者が大変不便な思いをしている。この間の執行部答弁では、「地域公共交通会議やコンサルタントとの協議を行っている。予約が前日になってくると大変不便なので、今後も検討していきたい」と言っているが、その後どうなっているのか。

【政策課長】公共交通会議を行い、委託先のタクシー会社3社と個別に話をする機会があった。その中では、タクシーの台数や人員に限りがあるので、前日までの予約を前提としてほしいとの話があった。

問 今年度、地域公共交通会議は何回開いたのか。

【政策課長】6月22日に予定して

いたが、大雨で急遽中止となった。6月に中止になってから約半年間、1回も開かれていないというのは、小国・南小国両町の行政が公共交通の問題にどれだけの危機感を持っているかが問われる問題になるのではないのか。

【町長】乗合いタクシーは、予算は掛かっているが大変良い仕組みだと思う。予約時間に関して何が課題になって、その問題解決が出来ないのかをじっくり考えていきたい。



乗合いタクシー



次年度の予算編成は

大塚 英博

問 次年度の予算編成において、団体補助金を更に5%以上のカットを予定しているが、団体、組織の活動及び運営に町からの補助金は大事な部分であり、国の地方を守る支援金と同じようなものだ。そこで次年度の予算編成での団体補助金について伺う。

【町長】小国町は他の町村に比べ団体補助金が多く、限られた予算になる。組織には出来るだけ主体性を持った活動をお願したい。

問 商工業の所得対策について。商工業の所得と町の人口の動向には密接な関係がある。雇用を確保し、町の活性化の為に今頑張っている商工業を支援していくことが大事だと考えるが。

【情報課長】空き店舗対策事業、おもてなし事業、創業支援事業等、商工会と連携を図りながら振興を図って行く。

問 台湾との国際交流事業については30年の節目を向かえ



小国町商工会

た。文化や産業、教育等の新たな展開が出来ればと考えるが。そこで行政の中で国際化に向けた取組みに支援が出来るのかを伺う。

【町長】行政の中に窓口を設ける事は、大変厳しいと考える。今までもどおり活動に対する支援に留めたい。



職員の駐車場利用と 各懸案事項について 時松 唯一

【副町長】公共交通機関が発展していない現状で通勤には車を使用せざるを得ない。一般町民に対しても開かれているものであり、料金は徴収しない。

【町長】来庁される方に庁舎に近いところに停めて頂けるように、職員は離れたところに駐車する事、また庁舎近くの職員は徒歩で通勤するよう指示している。今後駐車場の有料化については検討致しかねる。

【副町長】公共交通機関が発展していない現状で通勤には車を使用せざるを得ない。一般町民に対しても開かれているものであり、料金は徴収しない。

【町長】来庁される方に庁舎に近いところに停めて頂けるように、職員は離れたところに駐車する事、また庁舎近くの職員は徒歩で通勤するよう指示している。今後駐車場の有料化については検討致しかねる。

【副町長】公共交通機関が発展していない現状で通勤には車を使用せざるを得ない。一般町民に対しても開かれているものであり、料金は徴収しない。

【町長】来庁される方に庁舎に近いところに停めて頂けるように、職員は離れたところに駐車する事、また庁舎近くの職員は徒歩で通勤するよう指示している。今後駐車場の有料化については検討致しかねる。

【副町長】公共交通機関が発展していない現状で通勤には車を使用せざるを得ない。一般町民に対しても開かれているものであり、料金は徴収しない。

【町長】来庁される方に庁舎に近いところに停めて頂けるように、職員は離れたところに駐車する事、また庁舎近くの職員は徒歩で通勤するよう指示している。今後駐車場の有料化については検討致しかねる。



小国町のシニア対策と 防災について 北里 勝義

【副町長】初動対応を中心に関証報告を作成予定。町政懇談会の意見や職員等のアンケート調査を実施し、随時報告書を作成している。

【総務課長】熊本地震を含めたところで来年度の地域防災計画に

【副町長】初動対応を中心に関証報告を作成予定。町政懇談会の意見や職員等のアンケート調査を実施し、随時報告書を作成している。

【総務課長】熊本地震を含めたところで来年度の地域防災計画に

【副町長】初動対応を中心に関証報告を作成予定。町政懇談会の意見や職員等のアンケート調査を実施し、随時報告書を作成している。

【総務課長】熊本地震を含めたところで来年度の地域防災計画に

【副町長】初動対応を中心に関証報告を作成予定。町政懇談会の意見や職員等のアンケート調査を実施し、随時報告書を作成している。

【総務課長】熊本地震を含めたところで来年度の地域防災計画に



防災講演会



新年度予算の方向性は

時松 昭弘

【町長】今年度、補正を含めて60億円を超えた予算を執行しているが、次年度は、どのような方向で町政を進めて行くのか。

【町長】人口減に歯止めをかける施策の展開、町の活性化に全力を尽くして行く。

【町長】人口減の中、民生費等の予算が増えてきている。高齢化が進む中、方向性を示して欲しい。また今回の農業委員改正に伴い町長は、改選時には、農業委員ではなく、町長職に専念すべきだ。三月議会に人事案件を提出すると思うが町長の考えは。

【町長】委員になるかは、熟慮したいと思う。

【町長】各課で予算のヒアリングを行っているが、次年度予算はどれだけの規模になるのか。

【総務課長】50億円程になり来年度も厳しい状況です。

【副町長】次年度交付税が9千万円程減ると聞いた。はっきりした数字が決定しているのか。

【副町長】総務省の試算で7千億



小国町役場

円減、今年度ベースで割戻して計算すると9千万円の減額となる。

【町長】過去の予算では決算で大幅に余った年度があり、予算の組み替えが必要ではないか。

【町長】精査しながら検討して行く。

【町長】町民に反映する予算確保は首長の務めではないか。

【町長】仕上りの部分では、政策予算を取りつけて行く。

【町長】前回、監査の意見書が出ており、熟知し、反省をもとに取り組んでほしい。

【町長】精一杯目標を持って取り組みたい。

阿蘇大橋地区災害現場視察

12月22日(木)午前10時から小国町・南小国町・産山村の3町村で阿蘇大橋地区の災害現場視察を実施しました。現場はテレビ等で報道されていますが、実際に現地に行っ



てみると想像以上に被害は甚大な事が解りました。現場では無人の重機が復旧をしています。作業は思っていた程進んではいませんでした。復旧にはこれからかなりの時間を要しそうです。



第10回 全員協議会

11月30日午前10時から森林保全センターで第10回全員協議会が開催されました。全員協議会では、12月定例会に上程予定の条例改正3件、平成28年度一般会計補正予算1件、特別会計補正予算3件についての説明・質疑が行われました。

町再生・活性化の方向性を探る

■小国町議会は10月31日から11月2日までの3日間、北海道内の下川町、留辺蘂町、弟子屈町で環境モデル都市の下川町を中心にCLT工法の建物についての研修及び温泉熱を利用した農業の研修を実施しました。

環境モデル都市 ^{しもかわ}下川町

■環境モデル都市の取り組みとして、「循環型の森林づくり」（公営住宅建設、雇用の創出ほか）、森林バイオマス発電により公共施設の6割のエネルギーを確保、将来は100%を目指すとのこと。環境モデル都市の取り組みにより「しあわせを感じる町づくり」を行っているとのこと聞きました。



CLT工法による建築物 ^{るべしべ}留辺蘂町

■オホーツクウッドピア協同組合では、CLT工法による建築物の見学とその製造過程を見学しました。大臣の認可を受けて建築されたCLT工法によるセミナーハウスの中での工場長の



説明では、CLT工法の特徴は、工期が早いこと、耐震性に優れていること（阪神淡路震災の1.4倍までの強度）断熱性に優れているとのことでした。ただ音が響くので遮音などの対策はしたほうが良いとのアドバイスを受けました。

また、同工場で製造している集成材は、小国町における杉の加工に新たな可能性を感じました。

※CLT工法とは、板の層を各層で互いに直交するよう積層接着した厚型パネルを使用した建築工法です。

温泉熱を利用した農業 ^{てしかが}弟子屈町

■温泉熱利用の「道の駅摩周」を見学しました。

この駅の交流会館は、温泉と水の温度差による発電を行い、イルミネーションなどの電力の供給を行っていました。また、野村北海道菜園（株）は温泉熱発電の排水をハウスに引き込み通年で農作物を栽培し、17名の地元雇用に繋げていました。



編集後記

平成29年もよろしくお願ひいたします。

昨年の災害の、復旧・復興もスタートし急ピッチで工事が進んでおります。工事看板もあちこちに立ち騒々しくなってくると思いますが、皆さんの御協力をお願い致します。

新年に入り、冬到来みたいな日々が多いようです。車の運転それから体調管理には、充分気を配りお過ごしください。

今年、開発センター解体・建設という大きなプロジェクトが待ち構えております。議会では、センター建替え検討特別委員会を設置しました。議員全員が委員として、協議・検討し町民の皆さまに喜んでいただけるようなセンター建設に邁進致します。

今年も、昨年同様4人で頑張っております。

よろしくお願ひいたします。

（熊谷 博行）

【発行責任者】

議長 渡邊 誠次

【広報委員会】

委員長 熊谷 博行

副委員長 穴見まち子

委員 松崎 俊一

委員 穴井 帝史